

様式 1

環境保全行動計画提出書
自動車使用管理

2022 年 7 月 28 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒100-8019 東京都千代田区大手町二丁目3番1号
氏名	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
(代表者名)	代表取締役社長 丸岡 亨

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		37 通信業					
事業の規模	従業員数	約2,530	人	原油換算した		4875.8	kl
	使用床面積	49374.54	m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	5	事業所	自動車使用台数			台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	11600	t-CO ₂	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC
			非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃	t-CO ₂
提出根拠		条例第13条(環境保全行動計画)				<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項	
		条例第23条(自動車使用管理計画)				<input type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第2項	
計画書の担当部署		担当部署名		ヒューマンリソース部 CSR・環境保護推進室			
		担当者氏名		佐藤 雅哉			
		電話/FAX		03-6700-4225		03-5202-5055	
		電子メールアドレス		earth-protection-te@ntt.com			
計画期間		2022	年	4	月	1	日
						2025	年
						3	月
						31	日
環境保全行動計画書 自動車使用管理		別添のとおり					
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (認証名 ISO14001) <input type="checkbox"/> 無					
	その他						

- 注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。
- 2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。
- 3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。
- 6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 7 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。
- 備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

NTTコミュニケーションズ地球環境憲章
◎基本理念:NTTコミュニケーションズグループは、グローバルな規模であらゆるお客さまの利益につながる最高水準のサービスを創造し、提供するすべての過程において、地球環境保全に積極的に取り組むとともに、環境にやさしい社会の実現に貢献します。
◎基本方針:①企業責任の遂行②環境にやさしい社会実現に向けた活動の支援③社会活動を通しての貢献④環境情報の公開⑤生物多様性の保全と持続可能な利用(生態系の保全と持続可能な利用)
詳細は、<https://www.ntt.com/about-us/csr/eco/details.html>参照

2 行動目標

【計画期間】

2022年4月1日～2025年3月31日

行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目	
	数値	単位		数値	単位			
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	11600	t	1	%	11500	t	2021年度実績	電力
法令の遵守	-	-	-	%	-	-		省エネ法
				%				
				%				
				%				
				%				

- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

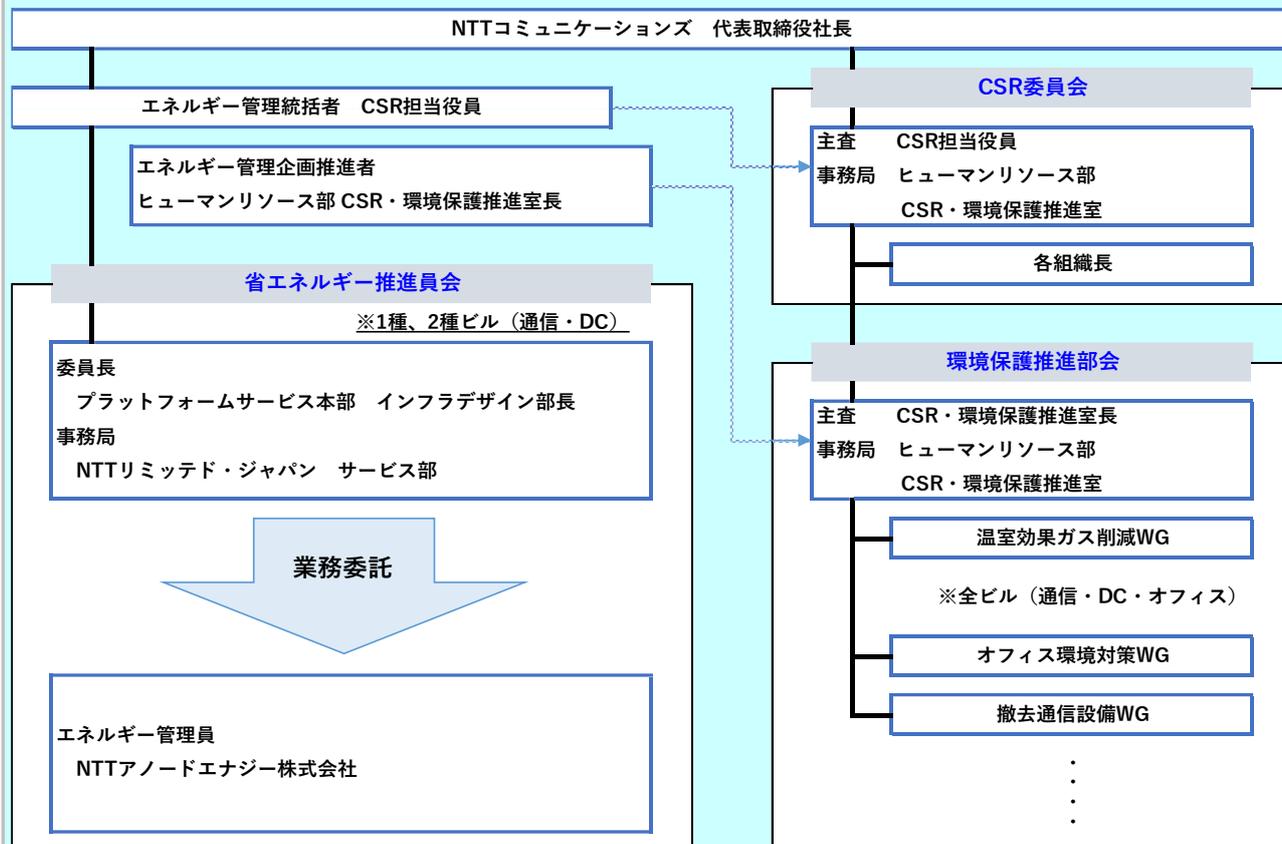
4 環境保全に係る実施組織体制

社内におけるエネルギー管理体制は、CSR委員会配下の環境保護推進部会の温室効果ガス削減WGで通信ビル、オフィスビルも含めて管理を実施。

本WGでの主たるテーマは全社横断的なエネルギーの削減施策の検討、CO2排出量の策定、エネルギー関連法案への対応を検討を行い、全社への水平展開を実施することを目的としている。

現在、各削減施策単位に具体的な展開方法、効果検討を進め、削減施策の具現化を推進。また、CO2排出量の目標値の実行管理を行い、PDCAによりカイゼンを図っていく。

エネルギー管理組織図



5 その他（環境保全活動の取り組み等）

- ・設備更改の際には省エネ性能に優れた機器を導入
- ・高効率照明への更改
- ・空調室外機の洗浄
- ・無線中継所の撤去に伴い、自然の生態系を維持を目的とした配慮を実施

燃料等使用量原油換算シート

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

【集計期間】

2021年 4月 1日～ 2022年 3月 31日

燃料等の種類		2021年度の使用量 ①		単位発熱量 ②		換算係数 ③		原油換算使用量 ①×②×③		
事業所・工場等 (自動車除く) で使用する燃料等	灯油		kL	36.7	GJ/kL	0.0258	kL/GJ		kL	
	A重油	31.3361	kL	39.1	GJ/kL			31.6	kL	
	B重油		kL	41.9	GJ/kL				kL	
	C重油		kL	41.9	GJ/kL				kL	
	液化石油ガス (LPG)		t	50.8	GJ/t				kL	
	都市ガス13A (天然ガス)	37.628	千m ³	45.0	GJ/千m ³			43.7	kL	
	電力	昼間	11,522.96	千kWh	9.97			GJ/千kWh	2964.0	kL
		夜間	7,239.88	千kWh	9.28			GJ/千kWh	1733.4	kL
	熱供給	2938.0415	GJ	1.36	GJ/GJ			103.1	kL	
自動車用燃料	ガソリン (レギュラー・ハイオク)		kL	34.6	GJ/kL	0.0258	kL/GJ		kL	
	軽油		kL	37.7	GJ/kL				kL	
	天然ガス (CNG)		千m ³	43.5	GJ/千m ³				kL	
	液化石油ガス (LPG)		t	50.8	GJ/t				kL	
合 計								4875.8	kL	

- 注 1 燃料等の使用量は、集計期間内に札幌市内で使用したすべての量を記入してください。
 2 自動車用燃料については、札幌市内で管理（駐車施設保有）する車両が対象になります。
 3 事業所・工場用LPGの記入単位はtです。購入単位がm³の場合、tに換算する必要がありますが、メーカーによって体積あたりの重量は異なるので、取引先にお問い合わせください。どうしてもわからない場合は、以下の数値を用いて換算してください。

種類	1m ³ 当たりのt (トン) への換算係数
プロパン	1/502 (t)
ブタン	1/355 (t)
プロパン・ブタンの混合	1/458 (t)

また、購入単位がkLの場合は、1kL=0.56tとして換算してください。

- 4 自動車使用管理計画のみの策定義務を負う事業者は、事業所・工場等で使用する燃料等の使用量の記入は要しません。

自動車使用状況

○自動車使用管理計画策定事業者は必ず記入してください。

使用台数	台	次世代自動車※台数	台
		(うち天然ガス自動車	台、ハイブリッド自動車

※ここでの次世代自動車とは、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、電気自動車、メタノール自動車、クリーンディーゼル自動車、燃料電池自動車を指します。

二酸化炭素排出量計算シート

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

1 エネルギー起源CO₂排出量

【集計期間】

2021年 4月 1日～ 2022年 3月 31日

燃料等の種類	2021年度の ① 使用量		二酸化炭素排出量計算係数				二酸化炭素排出量 ①×②×③		
			② 発熱量		③ 排出係数				
事業所・工場等 (自動車等 で使用する 燃料等)	灯油		kL	36.7	GJ/kL	0.0185 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂	
	A重油	31.3361	kL	39.1	GJ/kL	0.0189 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	84.91 t-CO ₂	
	B重油		kL	41.9	GJ/kL	0.0195 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂	
	C重油		kL	41.9	GJ/kL	0.0195 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂	
	液化石油ガス (LPG)		t	50.8	GJ/t	0.0161 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂	
	都市ガス13A (天然ガス)	37.628	千m ³	45.0	GJ/千m ³	0.0136 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	84.44 t-CO ₂	
	電力	昼間	11522.95632	千kWh	—	—	0.601	t-CO ₂ /千kWh	6925.30 t-CO ₂
		夜間	7239.882979	千kWh	—	—	0.601	t-CO ₂ /千kWh	4351.17 t-CO ₂
	熱供給	2938.0415	GJ	—	—	0.057	t-CO ₂ /GJ	167.47 t-CO ₂	
	小計							11600	t-CO ₂
自動車用燃料	ガソリン (レギュラー・ハイオク)		kL	34.6	GJ/kL	0.0183 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂	
	軽油		kL	37.7	GJ/kL	0.0187 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂	
	天然ガス (CNG)		千m ³	43.5	GJ/千m ³	0.0139 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂	
	液化石油ガス (LPG)		t	50.8	GJ/t	0.0161 ×44/12	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂	
	小計								t-CO ₂
合計							11600	t-CO ₂	

- 注 1 燃料等の使用量は、集計期間内に札幌市内で使用したすべての量を記入してください。
 2 自動車用燃料については、札幌市内で管理（駐車施設保有）する車両が対象になります。

2 エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガスの二酸化炭素換算排出量

【集計期間】

2021年 4月 1日～ 2022年 3月 31日

温室効果ガスの種類	2021年度の排出量 ①	地球温暖化係数 ②	二酸化炭素換算排出量 ①×②
非エネルギー起源CO ₂	t	1	t-CO ₂
メタン (CH ₄)	t	25	t-CO ₂
一酸化二窒素 (N ₂ O)	t	298	t-CO ₂

【集計期間】

2021年 1月 1日～ 2021年 12月 31日

温室効果ガスの種類	2021年の排出量 ①	地球温暖化係数 ②	二酸化炭素換算排出量 ①×②	
ハイドロフルオロカーボン類	HFC-23	t	14800	t-CO ₂
	HFC-32	t	675	t-CO ₂
	HFC-41	t	92	t-CO ₂
	HFC-125	t	3500	t-CO ₂
	HFC-134	t	1000	t-CO ₂
	HFC-134a	t	1430	t-CO ₂
	HFC-143	t	353	t-CO ₂
	HFC-143a	t	4470	t-CO ₂
	HFC-152	t	53	t-CO ₂
	HFC-152a	t	124	t-CO ₂
	HFC-161	t	12	t-CO ₂
	HFC-227ea	t	3220	t-CO ₂
	HFC-236fa	t	9810	t-CO ₂
	HFC-236ea	t	1370	t-CO ₂
	HFC-236cb	t	1340	t-CO ₂
	HFC-245ca	t	693	t-CO ₂
HFC-245fa	t	1300	t-CO ₂	
HFC-365mfc	t	794	t-CO ₂	
HFC-43-10mee	t	1640	t-CO ₂	
小 計			t-CO ₂	
パーフルオロカーボン類	PFC-14	t	7390	t-CO ₂
	PFC-116	t	12200	t-CO ₂
	PFC-218	t	8830	t-CO ₂
	パーフルオロシクロプロパン	t	17340	t-CO ₂
	PFC-31-10	t	8860	t-CO ₂
	PFC-c318	t	10300	t-CO ₂
	PFC-41-12	t	9160	t-CO ₂
	PFC-51-14	t	9300	t-CO ₂
	PFC-9-1-18	t	7500	t-CO ₂
	小 計			t-CO ₂
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	t	22800	t-CO ₂	
三ふっ化窒素 (NF ₃)	t	17200	t-CO ₂	

- 注 1 エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガスの排出量は、二酸化炭素換算排出量が3,000tを超える項目のみ、札幌市内で排出したすべての量を記入してください。
- 2 非エネルギー起源による二酸化炭素、メタン及び一酸化二窒素については年度で集計し、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄及び三ふっ化窒素については暦年で集計してください。
- 3 地球温暖化係数とは、温室効果ガスごとの地球温暖化をもたらす程度について、二酸化炭素との比を表わしたものです。